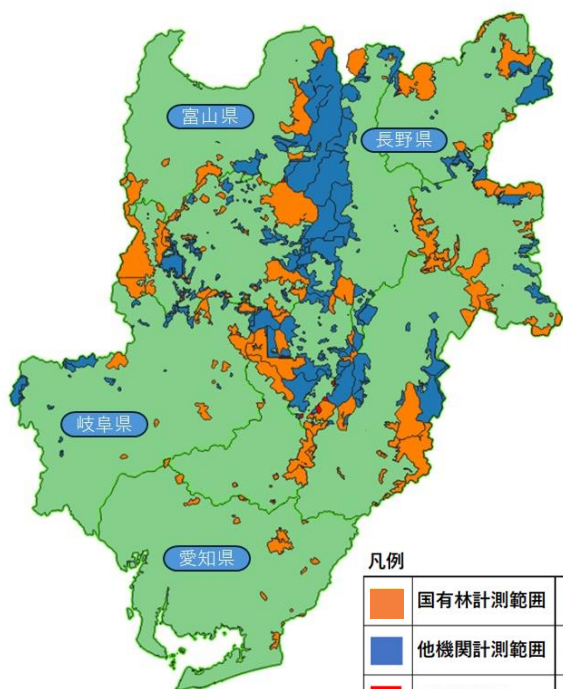


お役に立ちます国有林

～民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ～

－中部森林管理局の取組事例－



R8.4.1現在

航空レーザーデータの整備状況



ヘリコプターによる被害状況調査



二ホンジカ食害防除対策検討会

中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて、様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考としていただけるような事例をご紹介します。

皆様からのご助言等をいただきながら、より充実した取組となることを目指して参ります。

令和8年4月版

目 次

取組事例	ページ	参考となる皆様		
		自	事	所
災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査	1	○		
航空レーザ計測データの活用と共有	2	○	○	○
多様で健全な森林 ^{もり} づくりへの取組 ～「見える化」プロジェクト～	3	○		○
有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減	4	○		○
作業路網や中間土場の民国共同利用	5	○		○
伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業	6	○	○	○
低コスト造林 ～成果の見える化～【下刈りの省略】	7	○		○
初心者でも簡単にニホンジカを捕獲できる くくりわな の普及	8	○	○	○
ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催	9	○	○	
PTカメラを活用した捕獲罠の見回りコスト及び労力軽減への取組	10	○		
信州プレミアムカラマツのブランド化	11	○	○	○
D材(末木枝条及び端材等)の買受け希望者募集	12	○	○	○
木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給	13	○	○	
国有林おさんぽMAP ～国有林を歩いて健康づくり～	14	○		
森林環境教育を行う場所の提供	15	○		
多様な活動の森の協定を活用した地域振興	16	○		○
木曽谷観光産業の復興支援～御嶽山麓トレッキングパズルラリー～	17	○		

※自＝自治体 事＝林業、森林土木事業者 所＝森林所有者

災害発生時におけるヘリコプターによる迅速な調査

1. ねらい

豪雨や地震等による山地災害の被害状況を迅速に把握するため、ヘリコプターによる被害状況調査を実施し、地域の安心・安全の確保に努めています。

2. 概要

大規模な山地災害が発生した場合は、県・市町村と連携してヘリコプターによる被害状況調査を実施し、被害規模や被災状況の把握と、関係機関への情報提供を行っています。

3. 成果

ヘリコプターによる被害状況調査では、「山地災害調査アプリ」を活用し、新たに発生した崩壊地等の被害箇所を特定します。

調査結果については、関係機関へ情報提供しているほか、中部森林管理局HPでも公開しています。



4. 問い合わせ先

企画調整課、治山課 電話026-236-2515

航空レーザ計測データの活用と共有

1. ねらい

森林土木工事や事業計画策定等の効率化を図るため、地表面の形状を三次元的に計測したデータを活用いただけます。

2. 概要

近年、記録的な降雨などにより全国各地で激甚な山地災害が発生しています。このため、中部森林管理局では、国土強靱化に向けた取組の一環として、所管する国有林野等の航空レーザ計測等を概ね完了し、崩壊地や崩壊危険地の把握・分析を進めています。

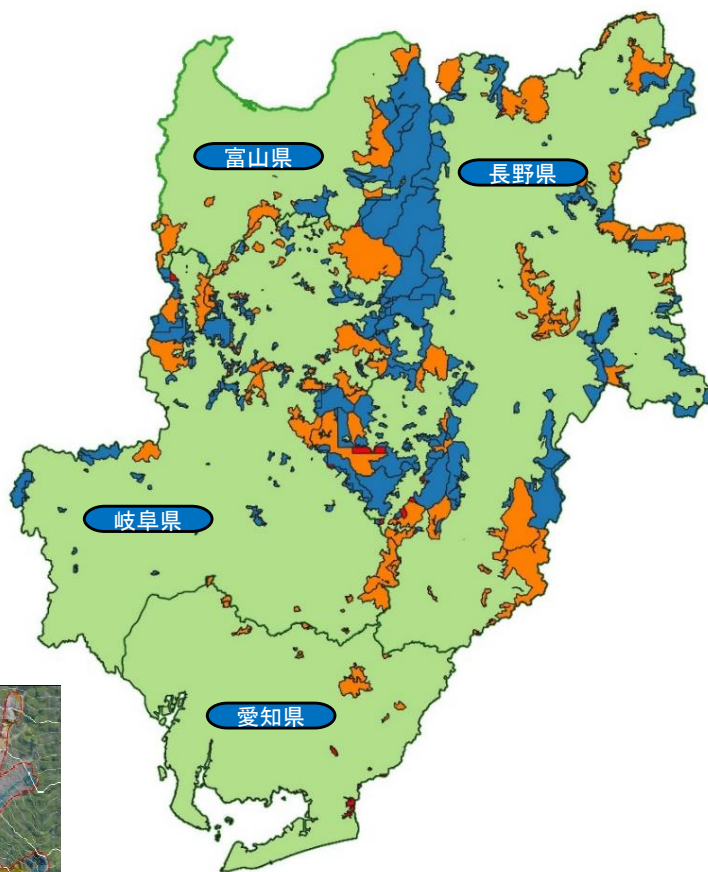
また、この計測データは、公共測量成果として国土地理院へ順次提出しています。

3. 成果

○山地災害の前兆地形(植生に覆われた地表の亀裂や地すべりの痕跡など)を発見することができます。

○災害前後の地表面の形状を比較(差分解析)することにより、災害規模等を把握することができます。

○計測データを活用することで平面図等を作成することができます。



凡例

	国有林計測範囲	提供可
	他機関計測範囲	提供可
	未整備範囲	提供不可



4. 問い合わせ先

治山課 電話026-236-2640

多様で健全な森林^{もり}づくりへの取組 ～「見える化」プロジェクト～

1. ねらい

生物多様性の保全など森林の持つ公益的機能の一層の発揮に向け、針広混交林等の多様な森林づくりを進めるため、「見える化」プロジェクトを進めています。

2. 概要

国有林では、育成複層林化等の取組を先導的に進めるなど、多様な森林づくりを推進しています。

多様な森林づくりにおいては、自然条件や社会的条件を踏まえた育成単層林・育成複層林の適切な配置の検討や、天然力を活用した育成複層林に誘導するための技術の検証等を進めていく必要があります。

このため、岐阜森林管理署管内の岐阜県下呂市内の落合国有林に「見える化」区域(1,085ha)を設定し、検証を進めています。

3. 成果

「見える化」区域の一つ、落合国有林134こ林小班(小班面積4.91ha、皆伐跡地)では、天然更新による稚樹の発生が見られたことから、針広混交林への誘導や、天然更新による造林作業の省力化を図るため、天然更新状況調査を実施しました。その結果、小班内の一部区域において天然更新の完了基準の条件を満たしていることが分かり、当該地での造林作業の大幅な省力化に資する結果となりました。



4. 問い合わせ先

計 画 課
岐阜森林管理署

電話026-236-2602
電話0576-62-3121

有用広葉樹等の保残による植栽面積(本数)の削減

1. ねらい

多様で健全な森林へ誘導するため、皆伐予定地に生育する有用広葉樹を積極的に保残するとともに、保残木の占有面積を植栽面積から除外して植栽本数を削減します。

2. 概要

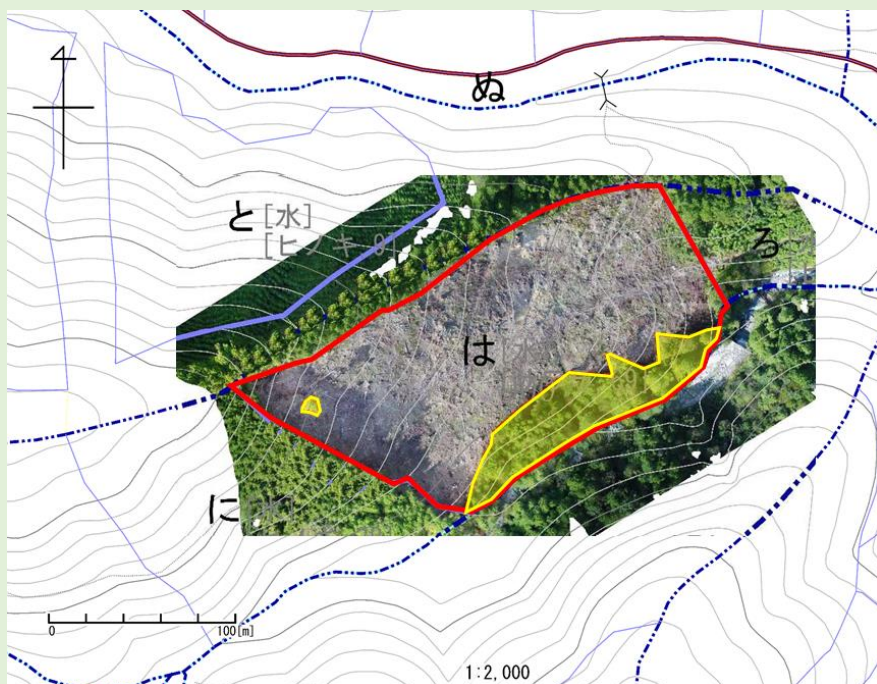
保残する有用広葉樹の占有面積は、ドローンの自動飛行により写真撮影を行い、その空中写真をオルソ画像化することにより確定します。

3. 成果

～モデル事業地での効果の概要～

皆伐面積2.42haから保残木占有面積0.38haを除くことによりヒノキ植栽本数840本を削減することが可能です。

有用広葉樹を保残したことにより、その区域における植栽や下刈りなどの再造林経費を削減することが可能です。



有用広葉樹の保残状況

凡 例	
	保育・更新施業 対象区域
	更新面積からの 控除区域

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話 026-236-2566

作業路網や中間土場の民国共同利用

1. ねらい

森林施業の効率的かつ効果的な実施と、木材の安定的な供給を目指して、民有林と国有林で作業路網や中間土場を共同で利用しています。

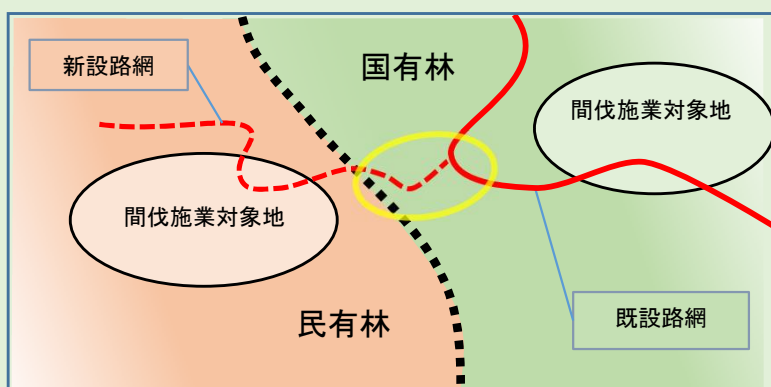
2. 概要

民有林と連携した森林整備の効率化等に取り組むため、中部森林管理局管内で14の森林整備推進協定を締結し、17箇所の森林共同施業団地を設定しています。

このうち、「木曽谷流域森林整備推進協定」に基づく森林共同施業団地では、民有林と国有林が連携して実施計画を策定し、相互の作業路網を連結したり、中間土場を共同で利用して協調出荷を行っています。

3. 成果

現場へのアクセス効率が改善され、事業のコストダウンを実現するとともに、需要者と協定を結んで安定的にカラマツ等の木材を供給することができました。



中間土場から協調出荷したシステム販売量

年度	販売数量 (m ³)		
	国有林材	民有林材	計
R 3	12,659	1,891	14,550
R 4	10,992	2,987	13,979
R 5	9,104	2,651	11,755
R 6	5,946	3,239	9,185
R 7	4,139	1,760	5,899
計	42,840	12,528	55,368

4. 問い合わせ先

計 画 課 電話026-236-2602
資源活用課 電話026-236-2671

伐採・造林一貫作業システムによる低コスト施業

1. ねらい

戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、今後、主伐の増加が見込まれることから、林業の持続に向けて再造林を円滑に行うため、造林コストの低減を図ります。

2. 概要

伐採・造林一貫作業システムとは、伐出機械を再造林作業の一部に利用したり、コンテナ苗を活用して、当年度中に伐採から地拵・植栽までを終わらせる低コスト作業システムです。

3. 成果

(1) 車両系システムでは、伐採搬出機械を使用した機械地拵により、末木枝条等を整理することが可能です。(人力地拵比約47%コスト減)



油圧ショベル(バケット)



油圧ショベル(グラップル)



作業後のイメージ

(2) 架線系システムでは、全木集材による末木枝条の搬出により、地拵作業の省力化が可能です。(人力地拵比約17%コスト減)



全木集材



コンテナへ積込



トレーラー運搬

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566

低コスト造林 ～成果の見える化～ 【下刈りの省略】

1. ねらい

造林事業の低コスト化を推進するため、取組成果をわかりやすく発信します。

2. 概要

契約金額での比較では、D材(林地残材)の搬出等による無地拵や、下刈りの隔年実施による下刈り省略等による低コスト化の成果が把握できません。
このため、各作業を仕様別に集計すると共に、省略状況を把握することで「成果の見える化」を図りました。

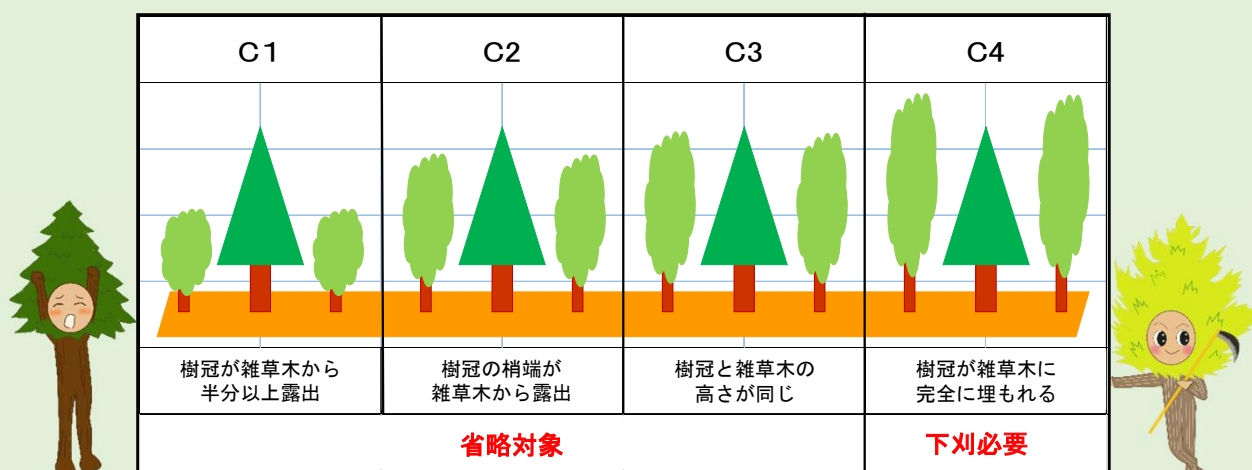
3. 成果(令和7年度実績)

◎ 下刈り省略

植栽後年数	面積(HA)	割合
1年目省略	151	22%
2年目省略	227	32%
3年目省略	158	23%
4年目省略	96	14%
5年目省略	68	9%
計	700	100%



- * 樹種はスギ・ヒノキ・カラマツ。
- * 下刈り対象面積は約1,282ha。(実行面積は約644ha)
- * 下刈り対象面積の約50%を省略し、コスト縮減を図った。



※出典: 山川ほか(2016)スギ植栽木の樹高成長に及ぼす期首サイズと周辺雑草木の影響、日林誌98:241-246

4. 問い合わせ先

森林整備課 電話026-236-2566

初心者でも簡単にニホンジカを捕獲できる くくりわな の普及

1. ねらい

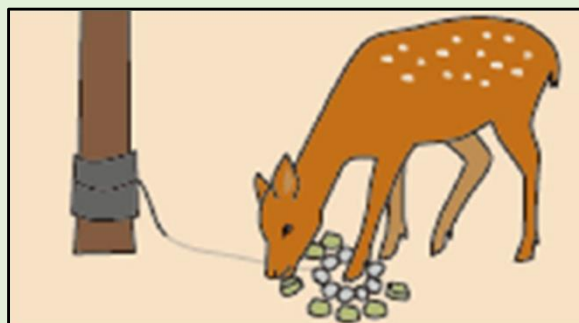
経験や技術に乏しい方でも、簡単に高確率でニホンジカを捕獲できる「小林式誘引捕獲法」を普及し、深刻化するニホンジカによる森林・林業等におけるシカ被害の低減に取り組んでいます。

2. 概要

くくりわなによる捕獲は、シカが往来する「けものみち」を見極めてわなを設置するなど、経験と技術が求められます。

そのため、林野庁職員が開発した、けものみち以外でもシカの習性を利用して高い捕獲効率が期待できる「小林式誘引捕獲法」を積極的に普及しています。

【設置方法のポイント】



石をよけて歩き、餌を食べるときに前足を出すシカの習性を利用し、わなの周りに石を設置して餌で誘引



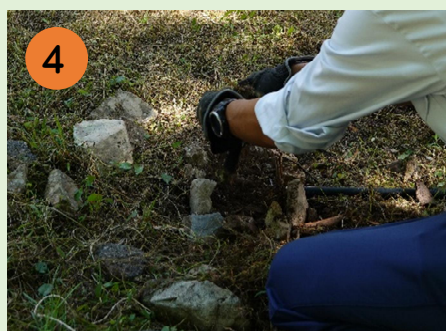
乾燥圧縮した牧草などで餌付けし、餌がよく食べられている場所に設置



地面から指2本ほどの高さになるように、わなの周りに石を埋め込む



わなの周りに石を設置した様子



踏み板とバネの上にサラサラの土をかけ、わなの金具等を隠す



石の周囲に餌を撒く（見回りの際に必要に応じて餌の補充を行う）



石が固定されているか、わなの金属部分が見えていないか、踏み板の上に大きな枝葉や餌等が乗っていないか確認し完成

3. 成果

令和5年度に、管内各地で開催した現地検討会には、国有林の職員をはじめ、県や市町村の職員、地元猟友会など、延べ約200名が参加しました。

令和7年度、岐阜森林管理署及び愛知森林管理事務所では「小林式誘引捕獲法」による捕獲を実施し、計49頭のニホンジカを捕獲しました。

※ 奈良県内の実証試験では、従来と比較して、捕獲効率が5倍に増加した事例があります。

4. 問い合わせ先

保全課 電話026-236-2563

ニホンジカ食害防除対策の現地展示と検討会開催

1. ねらい

ニホンジカによる食害の防除対策を普及するため、「獣害対策展示エリア」を国有林内に設け、検討会を開催しています。

2. 概要

防護柵や単木保護資材、センサーや囲いワナなど、ニホンジカによる食害を防ぐための様々な手段を現地に展示した「獣害対策展示エリア」を、岐阜県加茂郡七宗町^{ひちそうちよう}の国有林(森林共同施業団地内)に設置しました。

令和元年8月に展示を開始したこのエリアにて、県、市町村、林業事業者等の職員を対象に、岐阜県森林研究所、防護資材開発メーカー、森林管理局が、それぞれの最新の獣害対策を紹介し、参加者の間で意見を交換する現地検討会を毎年開催しています。



獣害対策展示エリア

3. 成果

検討会の参加者(地域の林業関係者)は、令和6年度は51名、令和7年度は35名で、地域に即した「防除(守りの対策)」、「捕獲(攻めの対策)」の両輪による、獣害対策の現状と課題を検討し、民国一体となった対策に向け、情報交換・共有を行いました。



4. 問い合わせ先

岐阜森林管理署
森林技術・支援センター

電話0576-62-3121
電話0576-25-3033

PTカメラを活用した捕獲罫の見回りコスト及び労力軽減への取組

1.ねらい

鳥獣の捕獲にあたっては、捕獲した個体の放置が法令により禁止されており、罫による捕獲の場合、「最低1日1回」罫の見回りを行うよう一般社団法人大日本猟友会発行の狩猟読本に明記されています。そこで、スマートフォンと通信可能な”PTカメラ(遠隔首振りカメラ)”を導入し、見回りコスト及び労力の大幅な軽減が可能であるか検証を行いました。

2.概要

職員による有害鳥獣駆除の実施に際し、見回り負担の軽減を目的として導入した従来の通報システムは、誤作動の多発により通知の正確性に課題がありました。

この課題を踏まえ、本検証では、携帯電話の電波圏内であれば外部電源が不要(ソーラーパネル駆動)で、スマートフォンからリアルタイムに遠隔視聴が可能な“防犯・防獣用通信カメラMC1”を導入しました。

また、カメラによる遠隔監視、人的な見回り、従来の通報システムの各手法をシミュレーション条件に当てはめ、コスト及び労力の比較検証を行いました。



3.成果

10日間の検証の結果、全期間において、スマートフォンから現地の状況を確認することができ、見回りに代替する手法として、十分実用可能であると判断されました。また、遠隔視聴の活用により、現地へ赴く必要性が解消され、任意のタイミングでの状況確認が可能となりました。

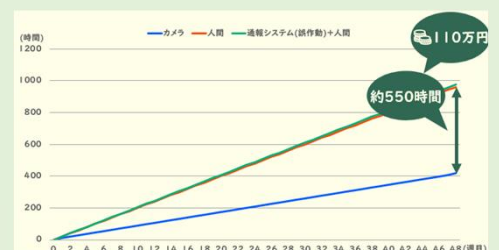
カメラ、人的な見回り及び従来の通報システムで1年間運用した場合のシミュレーションでは、カメラは初期コストを要するものの、約32週目で人的な見回りのコストを下回る結果となりました。また、見回りにかかる労力は、人的な見回りと比較して年間約550時間の削減が可能となり、人手不足の解消や大幅なコスト削減に寄与することが実証されました。



PTカメラで確認できたニホンジカ



見回りコストの比較



見回り労力の比較



4.問い合わせ先

南信森林管理署

電話050-3160-6060

信州プレミアムカラマツのブランド化

1. ねらい

良質な大径材、高品質な製品として信州カラマツの利用を推進するため、長野県や木材関係団体と協同して一定規格以上の丸太をブランド化し、市場に流通させています。

2. 概要

長野県を代表する樹種「カラマツ」は、先人たちの努力により、植え、育てられ、古いものは80年以上の時を経て、全国に先駆け大径材として生産、利用の時代を迎えています。

平成29年5月に開催された「国際ウッドフェア2017」の会場において、長野県、長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会とともに、長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から生産される径級30センチ以上の良質な大径材丸太を「信州プレミアムカラマツ」として発表し、同年10月に初出荷しました。



3. 成果

民有林材と国有林材を合わせて平成29年度から販売を開始し、今までの最高単価（1m³当たり）は、令和4年度販売の51,000円が最高値となっています。



木曽町「三岳保育園」で使用されている信州プレミアムカラマツ

年度	販売数量	平均単価
R2	14.673	29,436
R3	6.728	39,168
R4	8.034	39,333
R5	3.822	34,319
R6	16.070	23,888
実績	109.539	27,811

信州プレミアムカラマツの販売実績と販売単価

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677

D材(末木枝条及び端材等)の買受け希望者募集

1. ねらい

末木枝条及び端材、樹皮等は、発電や熱利用の「木質バイオマス」として有効活用が期待できることから、買受け希望者を募集しています。

2. 概要

事業実行により発生するD材の見込量や場所を公表して、買受け希望者を募集しています。

買受け希望者と売買契約を行った後に、集積されている場所でD材を引き渡し、そこから先は買い受けた方に運搬していただくことになります。

3. 成果

架線集材等による伐採・搬出事業での全木集材は、比較的整地された場所で枝払い作業等が可能となるため、安全性の向上も期待できます。また、作業で発生した末木枝条等は集積されているため、伐採跡地の再造林における地拵作業などは、人力による作業が主であることから、従事者の労働力負担軽減となり、造林コストの縮減へと繋がります。

流通拠点となる土場(木材を集積する場所)で発生する樹皮等を集積し、有効活用を図っています。



運搬車への積込み状況

年度	販売量	販売畧数
R 3	7,091	10
R 4	4,866	10
R 5	5,357	8
R 6	5,408	10
R 7	4,755	7
計	27,479	

D材の販売実績

4. 問い合わせ先

資源活用課 電話026-236-2677

木材市場と連携した特殊な寸法や品質の木材の供給

1. ねらい

公共建築物や神社仏閣などの建設に必要な大径材や長尺材を円滑に供給するため、木材市場を通じた受注生産を行っています。

2. 概要

中部森林管理局が丸太の販売を委託している木材市場では、大径や長尺の丸太が必要な方からのご相談を受け付けています。

中部森林管理局は、ご相談を受けた木材市場からの情報を基に、管内の事業地からカラマツ・ヒノキ・スギなどの人工林材が供給できるか調べ、供給可能な場合には木材市場を通じて丸太を販売します。

3. 成果

令和4年4月に完成した長野県南木曾町^{つまご}の妻籠町並み交流センター建設用材として、長さ4m×径級36cm以上の人工林ヒノキ丸太を3本、長さ6m×径級36cm以上の人工林ヒノキ丸太を55本、計58本を木材市場を通じ販売しました。



木材市場



製材加工所



南木曾町 妻籠町並み交流センター



4. 問い合わせ先

資源活用課
名古屋事務所

電話026-236-2677
電話052-683-9206

国有林おさんぽMAP ～国有林を歩いて健康づくり～

1. ねらい

中高年の方々を中心に、季節毎の景色を楽しみつつ、気軽に楽しく心身の健康づくりを行っていただくため、45ヶ所のおさんぽコースを紹介しています。

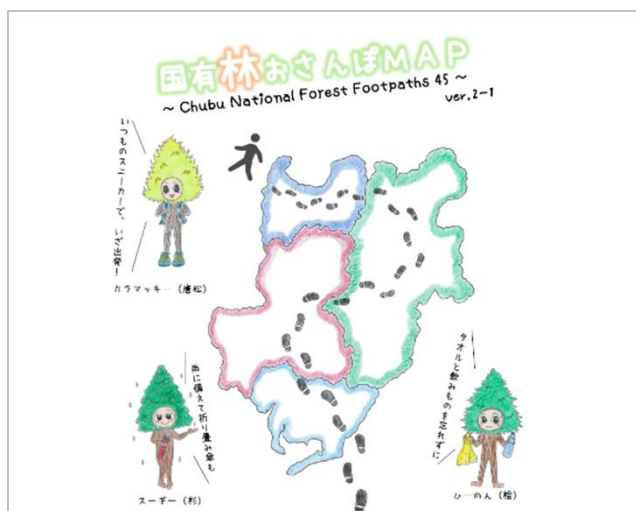
2. 概要

登山やトレイルランなどの運動負荷の高いコースはハードルが高いけれど、舗装路の散歩では物足りない。そんな需要に応えようと「登山未満、マチナカ以上」をコンセプトに、中部森林管理局管内各地の国有林から、中高年の方の体力づくりに必要とされる「中等度の負荷を与える運動を30分以上」行うことができるコースを厳選しました。

また、森林で過ごすことの効能に加え、骨粗鬆症や認知症を予防するのに効果的な歩き方もご紹介しています。実際に歩いた職員の年代、身長、所要時間、歩数もコース選びの参考にしていただけるよう掲載しました。

公表ページURL

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>



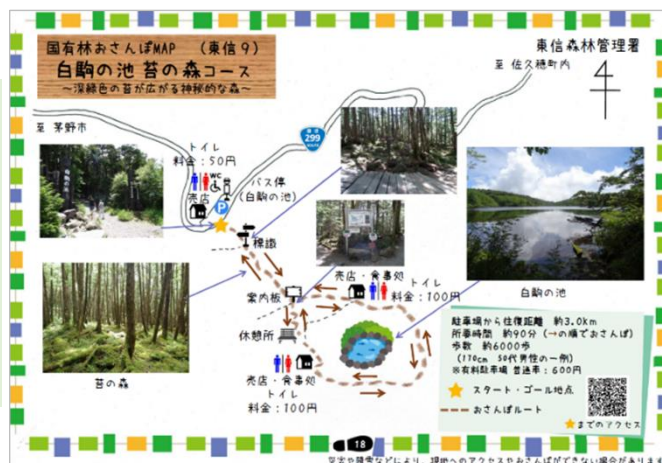
中部森林管理局管内のおさんぽコース

おさんぽコース 目次

番号	コース名	コースの長さ (所要時間目安)	MAPページ
①富山1	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	1
②富山2	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
③富山3	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
④富山4	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑤富山5	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑥富山6	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑦富山7	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑧富山8	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑨富山9	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑩富山10	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑪富山11	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑫富山12	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑬富山13	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑭富山14	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑮富山15	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑯富山16	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑰富山17	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑱富山18	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑲富山19	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
⑳富山20	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉑富山21	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉒富山22	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉓富山23	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉔富山24	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉕富山25	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉖富山26	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉗富山27	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉘富山28	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉙富山29	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉚富山30	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉛富山31	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉜富山32	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉝富山33	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉞富山34	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㉟富山35	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊱富山36	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊲富山37	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊳富山38	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊴富山39	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊵富山40	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊶富山41	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊷富山42	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊸富山43	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊹富山44	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46
㊺富山45	富山県 富山県立公園内	富山県立公園コース (富山県立公園内)	46

3. 成果

利用者からは、「整備された歩道で歩きやすかった。」「久しぶりに空気がおいしかった。」「北アルプスの眺望が素晴らしく、違う季節にまた行きたい。」といった声が寄せられています。



4. 問い合わせ先

保全課 電話026-236-2561

森林環境教育を行う場所の提供

1. ねらい

学校や自治体などが継続的に自然観察会や林業体験会などを開催するため、活動に適した国有林を協定に基づいてお使いいただいています。

2. 概要

国民参加の森林づくり制度の一つ「遊々の森」は、教育機関や自治体などが森林管理署と協定を締結することによって、活動に適した国有林のフィールドで様々な遊び、体験や学習を行うことができる制度です。令和8年4月現在では中部森林管理局管内に12箇所(398.97ha(重複箇所を含む))が設定されています。協定の相手方は小学校、大学、自治体、教育委員会などで、継続的に自然観察や林業体験などの活動が行われています。

遊々の森協定締結一覧

令和8年4月1日

3. 成果

平成17年に東京都多摩市と協定を締結した遊々の森「多摩市民の森・フレンドツリー」(62.57ha)では、毎年、同市の小学校6年生が森林教室等の学習活動、森林整備活動を実施しています。



多摩市民の森・フレンドツリー



名称	実施主体	所在地
山童の森	学校法人 東京環境工科学園 東京環境工科専門学校	長野県上水内郡 信濃町
森林・林業再生モデル林	一般財団法人 C.W. ニコル・アフアン の森財団	長野県上水内郡 信濃町
UWC ISAK Japan 大日向遊々の森	学校法人ユナイテッド・ワールド・カレッジ ISAKジャパン	長野県北佐久郡 軽井沢町
ソフィアの森	上智大学大学院 地球環境学研究科	長野県北佐久郡 軽井沢町
中野区遊々の森 ともりん	中野区教育委員会	長野県北佐久郡 軽井沢町
御代田町遊々の森	御代田町	長野県北佐久郡 御代田町
練馬区遊々の森	練馬区教育委員会	長野県北佐久郡 軽井沢町
和田小学校黒耀の森	長和町立 和田小学校	長野県小県郡 長和町
多摩市民の森・フレンドツリー	多摩市	長野県諏訪郡 富士見町
つながる遊学の森	高山市立 栃尾小学校	岐阜県高山市
源流の森	高山市	岐阜県高山市
神明の森	瀬戸市立 掛川小学校	愛知県瀬戸市

4. 問い合わせ先

技術普及課 電話026-236-2630

多様な活動の森の協定を活用した地域振興

1. ねらい

貴重な自然の保全と利用の両立を図るため、地元自治体と協定を締結して、自然環境の保護や自然散策ツアーを行っていただいています。

2. 概要

平成30年3月に、高山市と飛騨森林管理署は、「乗鞍山麓五色ヶ原の森」にある国有林の保護や利用に関する協定を結びました。

高山市は、自然への影響に関する調査・検証を行うとともに、この協定に基づき、原生林の中に点在する雄大な滝・池・湿地を含む国有林を利用して、自然環境の保護、遊歩道の整備、避難小屋の管理、ガイドツアーの開催などの活動を行っています。

3. 成果

完全予約制の有料ガイドツアーを
高山市の指定管理者が開催するな
ど、地域の雇用が創出されました。



4. 問い合わせ先

飛驒森林管理署

電話0577-32-0101

木曽谷観光産業の復興支援 ～御嶽山麓トレッキングパズルラリー～

1. ねらい

平成26年の御嶽山噴火によって低迷した木曽谷観光産業への更なる復興支援として、木曽のヒノキ材で作られたパズルピースを一つ一つ集めて、1枚の絵が完成するパズルラリーを令和2年7月から実施し第2弾をおんたけロープウェイの開業に合わせて令和7年度から行っています。

2. 概要

御嶽山麓トレッキングパズルラリーは、御嶽山の麓にある木曽町と王滝村の観光施設・案内所(4ヵ所)の観光関係者等にご協力をいただき開催しています。(冬期間は休止)

各施設にパズルピースを1枚ずつ置いてありますので、これらパズルピースを全て集めていただき、応募用紙と集めたピースを写した「全体写真」を郵送していただくか、応募用紙のQRコードを読み込み、メールに「全体写真」を添付して送信していただくことで、ピースの貼り板と台座を応募者全員に進呈します。

パズルの絵柄は、歌川広重が描いた木曽街道六十九次の浮世絵(丸山木材工業株式会社所蔵)を使用しています。

このほか、期間限定でスタンプラリーによる「赤沢自然休養林トレッキングパズルラリー」も行います。



3. 成果

応募者からは、「集め終わった時の達成感があり、部屋に飾っておくことができるので、大変すばらしい企画だと思います」「とても楽しくできました。観光しながら回ったので、天気も良くて良かったです」などの声が寄せられ、パズルラリーを体験した方々に好評です。

4. 問い合わせ先

木曽森林ふれあい推進センター 電話0264-22-2122